

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		かかりつけ医機能推進					整理番号	446	枝番号			
担当部課名		杉並保健所 地域保健課		コード	150305	連絡先 電話番号	3391-1355	昨年度 整理番号	461	昨年度 枝番号		
係名					救急医療係		上位施策名		No			
予算事業名					保健事業の推進		コード	45750	地域医療体制の整備			
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		8年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 2 政策番号 (4) 施策番号 事業コード 3 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 すべての区民。		(1) 杉並区かかりつけ医機能推進事業実施要綱 (2) (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			かかりつけ医の紹介・相談事業。医師会委託により実施。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) かかりつけ医を持つことにより、身近な地域で安心して一人ひとりの特質に応じた適切な医療を受けられることを目指す。						
	活動指標名(式)			(1) かかりつけ医の相談受付件数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) かかりつけ医を持つ人の割合 (2)						
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		件	129	100	98	100	80	100	100	80.0	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	57	60	60	60	64	65	70	91.4	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,107	1,427	1,197	1,004	915	1,032	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	808	808	808	808	808	808			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.11	0.05	0.10	0.09	0.11	0.11			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,001	453	906	815	997	997		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	2,108	1,880	2,103	1,819	1,912	2,029			
	単位あたりコスト(-)÷		円	16,341	18,800	21,459	18,190	23,900	20,290			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	2,108	1,880	2,103	1,819	1,912	2,029				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			かかりつけ医機能推進事業の委託 「(委託等)」					1	件	808		
			その他 (需用費)							107		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 446 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	80.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	91.1
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		かかりつけ医の定着・促進のために、医師会が中心となつての地域医療機関との連携強化を掲げたが、実際には、紙媒体による普及啓発以外は具体的な進展はなかった。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	介護保険の要介護認定(平成12年開始)、障害者自立支援法の障害程度区分認定(同18年)などの際に「かかりつけ医」の意見書が必要となった。また、生活習慣病予防・メタボリックシンドローム対策の観点からも、日常の健康管理サポート役として「かかりつけ医」に必要性はますます高まっている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特になし。				
	今後の予測	医療制度改革による療養病床再編に関係し、今後、在宅で療養する高齢者が増えてくることから、日頃の健康管理のアドバイザーとしての「かかりつけ医」の重要性は高くなっていくことが予想される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:かかりつけ医の定着・促進は、地域医療体制を整備していく上で重要である。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:病気のときだけでなく、『日頃の健康相談にも応じる』という点を強くPRする。 理由または具体的内容:上記事項を、ポスター、パンフレット、チラシ等に盛り込んでPRしていく。				
	ai ない(理由)	理由または具体的内容:事業の性格上、受益者負担になじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現状のサービス内容を減少させることになるため、コスト削減は困難である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 医師会委託事業であるため、きめ細やかな「かかりつけ医」の相談・紹介が行われており、「かかりつけ医」を持つ区民の割合も年々増えている。今後とも、ポスター、パンフレット、チラシ等の広報媒体により、「かかりつけ医」そのものの役割を積極的にPRしていく。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 生活習慣病予防・メタボリックシンドローム対策の観点、さらには、医療制度改革による療養病床再編の関係から、「住み慣れた地域で安心して暮らす」ために「かかりつけ医」の存在は、ますます重要性を増してくる。こうしたことから、日常の健康管理サポート役として「かかりつけ医」をより積極的にPRしていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 医師会が中心となり関係医療機関との連携をより強化していく。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 ポスター、パンフレット、チラシ等の広報媒体により、「かかりつけ医」そのものの役割を積極的にPRしていく。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		休日等夜間急病診療の運営					整理番号	448	枝番号		
担当部課名		杉並保健所 地域保健課		コード	150305	連絡先 電話番号	3391-1355	昨年度 整理番号	463	昨年度 枝番号	
係名		救急医療係		上位施策名				No			
予算事業名		休日等急病診療		コード	45950	地域医療体制の整備				39	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		15年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 2 政策番号 (4) 施策番号 事業コード 1 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 休日・夜間の急病により診療を必要とする区民。		根拠法令等		(1) 杉並区休日夜間等急病診療事業実施要綱 (2) 杉並区歯科休日急病診療事業実施要綱 (3) 杉並区調剤待機事業実施要綱		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		休日夜間等の急病診療所の運営。医師会委託により実施。 休日の歯科診療所の運営。歯科医師会委託により実施。 上記2事業のための薬局の運営。薬剤師会委託により実施。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		一般の医療機関での受診が困難となる曜日・時間帯での診療体制を整えることにより、急病時においても安心して暮らせるまちを目指す。				
	活動指標名(式)		(1) 急病診療所(歯科含む)・薬局の利用者数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代)急病診療所一日平均利用者数 (2)				
	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%
指標	活動指標(1)		人	17,725	16,000	16,349	16,000	16,139	16,000	100.9	
	活動指標(2)		日								
	成果指標(1)		人	12	11	12	12	11	12	91.7	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	183,824	175,616	174,643	177,010	175,464	176,670	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	182,752	174,311	173,567	175,848	174,263	175,540		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.54	0.40	0.55	0.47	0.54	0.43		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,914	3,624	4,983	4,258	4,892	3,896	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +		千円	188,738	179,240	179,626	181,268	180,356	180,566		
	単位あたりコスト(-)÷		円	10,648	11,203	10,987	11,329	11,175	11,285		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	4,410	4,410	4,410	4,410	4,410	4,410	
特定財源計 +		千円	4,410	4,410	4,410	4,410	4,410	4,410			
差引: 一般財源 -		千円	184,328	174,830	175,216	176,858	175,946	176,156			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		休日夜間等急病診療事業委託					(「委託等」)	1	件	137,714	
		歯科休日急病診療事業委託					(「委託等」)	1	件	24,197	
		調剤待機事業委託					(「委託等」)	1	件	12,352	
		急病診療(かかりつけ医含む)PRポスター等作成						1,400	枚	280	
		その他 (需用費、役務費等)							921		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 448 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.9	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	99.1
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		医師会等自らのコスト削減による事業の見直しを掲げたが、具体的な進展はなかった。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	休日夜間急病診療事業と併行して、16年度東京衛生病院・18年度河北総合病院に小児初期救急の診療枠を確保してきた。また、24時間365日の医療相談・診療機関案内窓口として、16年1月、急病医療情報センターを開設した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	休日の輪番医(8所)について、医師会から、医師の高齢化等を理由に開設箇所数の縮小を望む声が出ている。					
	今後の予測	上記のとおり、事業開始以降、東京衛生・河北の2病院に小児初期救急の診療枠を確保してきたこと、また、休日輪番医の縮小を望む声があることから、医師会と調製のうえ、休日夜間診療事業の診療枠・診療科目の見直しを図る可能性がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:24時間365日、急病時に安心して受診できる医療体制を整えていることは、安心安全のまちづくりに寄与するものである。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:19年度開設の医療安全相談窓口(医療機関にかかる苦情・相談対応窓口)との有機的な連携。 理由または具体的内容:上記相談窓口に寄せられた相談事例を、急病医療情報センター、各医療機関等にフィードバックすることにより、急病診療事業に対する区民の安心感・信頼感を高める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:利用者は、保険診療の自己負担分を負担している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現状のサービス内容を減少させることになるため、コスト削減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 急病医療情報センターのオペレーション機能の向上により、急病診療事業に対する区民からの苦情はほとんどなくなっている。今後は、上記のとおり、医師会と調製のうえ、休日夜間診療事業の診療枠・診療科目の見直しを図ることが課題である。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 医師会と調整のうえ、休日夜間診療事業の診療枠・診療科目の見直しを図る。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	休日夜間診療事業の診療枠・診療科目の見直し結果によっては、経費増となる可能性がある。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歯科保健医療センターの運営					整理番号	449	枝番号		
担当部課名	杉並保健所 地域保健課	コード	150305	連絡先電話番号	4528	昨年度整理番号	464	昨年度枝番号			
係名	救急医療係	上位施策名					No				
予算事業名	歯科保健医療センター運営	コード	46350	地域医療体制の整備					39		
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規				<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等					
	在宅要介護状態や障害などの理由でかかりつけ歯科医を持たない区民。同様に一般の歯科診療所での診療が困難な区民。						(1) 杉並区立歯科保健医療センター条例 (2) 杉並区立歯科保健医療センター条例施行規則 (3) 杉並区立歯科保健医療センター運営要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○かかりつけ歯科医に関する相談・歯科医療機関の紹介等及び障害や疾病により一般歯科診療所での治療が困難な区民を対象に専門的歯科治療を提供する。 ○医療関係団体間での医療連携、地域の歯科医療機関相互の連携に取り組む。事業は(社)東京都杉並区歯科医師会に委託して実施している。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○障害や疾病により一般歯科診療所での治療が困難な区民に安心して歯科診療を受けられる場の提供と、身近にかかりつけ歯科医を持ち気軽に相談できる環境をつくり、もって区民の健康増進を支援する。 ○高次歯科医療機関、専門歯科医療機関や医科診療機関との連携により、安全で適切な歯科治療の場を確保する。				
	活動指標名(式)	(1) 延べ診療件数(年間) (2) 相談総数(年間)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) かかりつけ歯科医を持つ区民の割合 (2) (代)延べ診療件数の前年比				
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)	件	3,340	3,400	3,576	3,600	3,469	3,600	4,000	86.7	
	活動指標(2)	件	98	100	91	100	78	100	100	78.0	
	成果指標(1)	%	66	67	63	65	66	67	70	94.3	
	成果指標(2)	%	102	102	107	101	97	95	110	88.2	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	73,687	77,273	71,373	78,015	70,620	79,714	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0						
	(内) 委託費	千円	73,475	77,265	71,069	78,007	70,216	78,776			
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.28	1.38	0.55	0.47	0.54	0.54			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,648	12,503	4,983	4,258	4,892	4,892		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	85,335	89,776	76,356	82,273	75,512	84,606			
	単位あたりコスト(-)÷	円	25,549	26,405	21,352	22,854	21,768	23,502			
	財源	受益者負担分	千円	22,144	18,517	21,543	18,517	20,222	20,912		
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	22,144	18,517	21,543	18,517	20,222	20,912			
差引: 一般財源 -		千円	63,191	71,259	54,813	63,756	55,290	63,694			
受益者負担比率 ÷	%	25.9	20.6	28.2	22.5	26.8	24.7				
18年度の主な取組み	内 容		規模		単位	事業費(千円)					
	歯科保健医療センターの運営委託(「委託等」)		1		件	70,216					
	歯科保健医療センターあり方検討会委員謝礼		24		人	396					
	歯科診療保険料		1		件	8					
	その他 ()					0					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 449 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	96.4	活動指標(2)の 18年度達成率%	78.0	18年度予算 執行率%	90.5
		活動指標(1)および18年度予算執行率については、常勤歯科衛生士の死亡による退職により、一時的に診療体制に影響が出た可能性がある。 活動指標(2)については、訪問歯科診療の希望の減少による。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		歯科保健医療センターあり方検討会の報告書に基づき、歯科医師会役員と区管理職を委員とする事業改革連絡会を立ち上げ、具体的な事業の見直しの検討に入った。診療室では歯科医療連携推進の考え方から、逆紹介の実施の準備に入った。また、介護保険事業所等に向けた口腔ケア、介護予防分野の取り組みとして、事業所従事者向け歯科医師会医師による出張研修が開始された。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成13年度歯科保健医療センター開設時から現在まで知的障害者等の数に大きな変化はない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	区北西部に位置することから、障害のある通院患者にとって、自宅から遠いなど通院が困難な場合があり、利用者および区歯科医師会から『患者搬送体制の整備』や『施設移転』についての希望がある。					
	今後の予測	○区内の歯科医療機関のきめ細かな障害者等に対する情報が、提供されるにつれ、地域の歯科医療機関と歯科保健医療センターの機能分担が明確になることで、歯科保健医療センターでは難易度の高い患者の診療が多くなると思われる。 ○他の障害者専門歯科医療機関などからの、歯科保健医療センター、地域の歯科医療機関への逆紹介が推進される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 歯科保健医療センターと地域の歯科医療機関間の連携を強化し、役割分担を明確にすることにより、区全体で障害者歯科診療が提供されるようになり、身近な地域で気軽に歯科診療を受診できるようにする。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 歯科保健医療センターの経営体制、診療体制を見直すことで成果を向上させることは可能となる。					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 歯科保健医療センターの普及啓発の推進、紹介、逆紹介を推進し体制を見直すことで成果を向上させることは可能となる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 診療費の自己負担を患者に求めている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: より効果的な人員配置を再考することでコスト削減の可能性はある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 歯科保健医療センター運営は社団法人 東京都杉並区歯科医師会にすべて委託している。事業の性格上、区歯科医師会との協働を継続していく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新たな歯科保健医療センター構想のもと、職員体制の見直し、逆紹介など歯科医療連携を推進する。歯科保健医療センター事業改革連絡会で具体策を検討し、あり方検討会報告書の方向性を実現させる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 歯科保健医療センタースタッフ、歯科医師会と区の間には存在する認識の相違を是正し、新たな歯科保健医療センター構想を実現するため協議・調整を行う。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 職員の非常勤化など職員体制の見直しを図ることで予算総額的には増減なしとなる。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			急病医療情報センターの運営					整理番号	450	枝番号		
担当部課名			杉並保健所 地域保健課		コード	150305	連絡先 電話番号	3391-1355	昨年度 整理番号	465	昨年度 枝番号	
係名			救急医療係					上位施策名	No			
予算事業名			救命救急体制の構築		コード	45900	地域医療体制の整備			39		
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		16 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 2 政策番号 (4) 施策番号 事業コード 1 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 医療機関案内等の情報を必要とする区民。		(1) 杉並区急病医療情報センター運営要綱 (2) (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			24時間365日、医療機関案内・医療相談を行う「急病医療情報センター」の運営。民間事業者委託により実施。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		急病・ケガ等の際、24時間365日医療機関案内・医療相談が可能な体制を整えることにより、緊急時においても安心して暮らせるまちを目指す。				
	活動指標名(式)			(1) 急病医療情報センター利用者数 (2) 急病医療情報センターへの小児に関する問合せ件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 救急医療に安心感を持つ区民の割合 (2) (代) 救急医療に安心感を持つ30代女性区民の割合				
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		人	1,268	10,000	21,035	23,000	27,940	30,000	30,000	93.1	
	活動指標(2)		件	560	4,500	10,319	10,000	13,977	15,000	15,000	93.2	
	成果指標(1)		%	50	55	49	52	49	60	70	70.0	
	成果指標(2)		%	42	45	56	58	48	60	70	68.6	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,013	47,800	47,800	47,800	47,800	47,800	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	16,013	47,800	47,800	47,800	47,800	47,800			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.60	0.66	1.65	1.34	0.64	0.43			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,460	5,980	14,949	12,140	5,798	3,896		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	21,473	53,780	62,749	59,940	53,598	51,696			
	単位あたりコスト(-)÷		円	16,935	5,378	2,983	2,606	1,918	1,723			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	21,473	53,780	62,749	59,940	53,598	51,696				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			急病医療情報センター運営に係る業務委託 (「委託等」)					件	1	47,800		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 450 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	121.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	139.8	18年度予算 執行率%	100.0
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		前年度は、多くの区民に信頼される医療情報の提供を取り組み課題に掲げ、委託会社(ダイヤル・サービス㈱)自ら、オペレーション技能向上に向け内部研修を実施したほか、保健所医師・医師会医師らにより、定期的に音声データの検証を実施。その結果、当該年度、医療機関案内に係る利用者からの苦情が激減している。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成17年1月事業開始当初はオペレーターの電話対応等に係るクレームがあったが、上記のとおり、サービスの質の向上に向けた取り組みを続けた結果、現在ではクレームはほとんどなく、利用者も前年比1.3倍と伸びている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	医療機関案内に対するクレームが数件あるが、当該医療機関や当該音声データを確認してみると、本人の勘違いによる場合が殆どであった。					
	今後の予測	サービス開始以来、利用件数は年々増えており、今後も増加していくことが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:24時間365日、保健師・看護師が医療機関案内の情報提供を行うことは、安心安全のまちづくりに寄与するものである。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:19年度開設の医療安全相談窓口(医療機関にかかる苦情・相談対応窓口)との有機的な連携。 理由または具体的内容:上記相談窓口に寄せられた相談事例を、急病医療情報センター、各医療機関等にフィードバックすることにより、医療機関案内・医療相談の質を高める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:当事業は、急病時の医療機関案内であり、受益者負担はなじまない。(通話料は利用者負担である。)					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現状のサービス内容を減少させることになるため、コスト削減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 民間事業者への全面委託事業で実施している。今後とも、オペレーション技能の向上、音声データの検証等により、サービスの質の向上を目指していく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 オペレーション技能の向上・音声データの検証のほか、19年度開設の医療安全相談窓口とも連携してサービスの質の向上に取り組み、クレームゼロを目指す。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 医療安全相談窓口に寄せられた事例を、迅速・正確に運営事業者のサービスに反映させるために、その仕組みづくりが必要となる。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 事業開始から3年を経過しているため、医療情報ネットワーク先の7医療機関のコンピューターのメンテナンス経費を見込む必要がある。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			小児急病対応の充実					整理番号	451	枝番号						
担当部課名			杉並保健所 地域保健課		コード	150305	連絡先 電話番号	3391-1355	昨年度 整理番号	466	昨年度 枝番号					
係名			救急医療係		上位施策名					No						
予算事業名			救命救急体制の構築		コード	45900	地域医療体制の整備			39						
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		16 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 2 政策番号 (4) 施策番号 事業コード 1 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 急病により診療を必要とする小児。		(1) 小児急病診療体制の確保に関する協定書 (2) (3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 一般に診療機関での受診が困難となる時間帯の小児急病診療枠を、東京衛生病院・河北総合病院(18年度開始)に委託して確保している。 小児急病時等の対処について、小冊子・講演会で啓発している。												
	活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 延べ入院患者数 (2) 救急医療に安心感を持つ区民の割合												
			(1) 延べ受診者数 (2) 延べ診療日数													
区分			単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%					
				計画	実績	計画	実績									
指標	活動指標(1)			人	1,042	2,300	1,662	2,300	5,586	6,000	6,000	93.1				
	活動指標(2)			日	118	240	247	340	562	570	570	98.6				
	成果指標(1)			人	91	200	170	200	446	500	500	89.2				
	成果指標(2)			%	42.4	45.0	49.4	50.0	48.6	60	70	69.4				
総事業費・コスト把握			事業費		千円	6,188	12,933	8,681	31,310	23,965	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
			(内) 投資的経費等		千円											
			(内) 委託費		千円	3,840	11,665	7,840	30,000	22,671			30,000			
			職員数(常勤 非常勤)		人	0.30	0.29	0.27	0.46	0.32	0.21	18年度から河北総合 病院が加わったため、 の実績数値は 前年度比大幅増となっ ている。				
			人件費	常勤職員分(超勤分含む)		あ	2,730	2,627	2,446	4,168	2,899			1,903		
				非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			0		
			総事業費 + +		千円	8,918	15,560	11,127	35,478	26,864	1,903					
			単位あたりコスト(-)÷		円	8,559	6,765	6,695	15,425	4,809	317					
			財源	受益者負担分		千円										
				国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円		0	0	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円		8,918	15,560	11,127	35,478	26,864	1,903							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)						
			小児急病診療体制の確保に関する委託契約(東京衛生病院)('委託等')					1	件	13,671						
			小児急病診療体制の確保に関する委託契約(河北総合病院)('委託等')					1	件	9,000						
			啓発用小冊子作成					5,200	冊	786						
			啓発用パンフレット作成					3,000	枚	126						
			その他 (報償費・需用費)							382						

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 451 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	242.9	活動指標(2)の 18年度達成率%	165.3	18年度予算 執行率%	76.5
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		河北総合病院の診療枠の委託については、病院側が東京都の小児二次救急指定を受けるまでの間の時限的対応であり、病院側は19年度を目途の体制整備を進めるとしていたが、その予定が21年度に修正された。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	小児急病医療という枠組みでみた場合、15年度に保健所内診療所で日夜間の小児急病診療を開始し、加えて16年度に東京衛生病院に診療枠を確保、さらに、18年度から河北総合病院にも診療枠を確保した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	小児急病時に、曜日・時間を問わず複数の受診先が確保されていることに対する区民の期待は大きい。					
	今後の予測	全国的な小児科医の減少・偏在により、委託先医療機関における小児科医確保問題が推測されるとともに、上記3所における診療体制の見直しも予想される。					
事業のあり方点検	貢献度 大(理由)	理由:小児急病時に、曜日・時間を問わず複数の受診先が確保されていることに対する区民の期待は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:当事業の浸透により、利用者はさらに増加するものと思われる。					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:急病医療情報センターによる迅速・正確な医療機関案内と、医療安全相談窓口による事後のフォローにより、利用者の増加が見込まれる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:利用者は、保険診療の自己負担分を負担している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:不足している小児科医を確保するための経費であり、削減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 利用者数が年々増加していることから、確実に成果は上がっていると推測するが、上記のとおり、今後、委託先医療機関における小児科医確保問題が表面化してくることが予想される。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 河北総合病院の小児二次救急指定について、その時期が21年度に修正されたため、それまでの間は現行どおりの事業を継続する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 今後、委託先医療機関における小児科医確保問題が表面化してくることが予想される。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	規模・内容において現行どおりの事業を継続する。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			初期救急対応力の向上					整理番号	452	枝番号		
担当部課名			杉並保健所 地域保健課		コード	150305	連絡先 電話番号	3391-1355	昨年度 整理番号	467	昨年度 枝番号	
係名			救急医療係		上位施策名				No			
予算事業名			救命救急体制の構築		コード	45900	地域医療体制の整備				39	
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		16年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 2 政策番号 (4) 施策番号 事業コード 1 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等								
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 中学生以上の区民 区職員		(1) 地域における初期救急対応力整備要綱 (2) (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			AEDの配備 救急協力員の養成 救命講習の実施		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 傷病者発見時に、救急隊到着までの間、正確・迅速に応急処置ができる区民・職員を増やす。						
	活動指標名(式)			(1) 救急協力員(区民レスキュー)延べ登録者数 (2) まちかど救急隊延べ登録数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 救命講習会延べ参加者数(区民) (2) まちかど救急隊発足率 延べ登録数÷震災救援所数(67)						
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%		
	活動指標(1)	人	238	600	679	944	923	1,193	2,003	46.1		
	活動指標(2)	隊	4	20	13	18	14	16	20	70.0		
	成果指標(1)	人	0	200	1,095	2,500	1,433	2,500	2,500	57.3		
	成果指標(2)	%	0	30	19	27	21	24	50	42.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	831	22,300	45,935	30,053	13,985	1,349	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円		21,000	42,301	28,753	13,348				
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.10	1.79	3.85	3.38	3.22	3.22			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	10,010	16,217	34,881	30,623	29,173	29,173		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	10,841	38,517	80,816	60,676	43,158	30,522			
	単位あたりコスト(-)÷		円	45,550	29,195	56,723	33,817	32,297	25,584			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	10,841	38,517	80,816	60,676	43,158	30,522				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			AED購入収納ボックス購入				84	台	9,526			
			AED購入				13	台	3,822			
			その他 (需用費・通信運搬費						637			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 452 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	97.8	活動指標(2)の 18年度達成率%	77.8	18年度予算 執行率%	46.5
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		救急協力員及びまちかど救急隊の震災救援所メンバー参加を計画したが、救急協力員の自発的な意思に委ねたため、目立った成果は得られなかった。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	地域大学の救急協力員講座が毎回盛況であること、日頃、区内の団体・グループから救命講習の依頼が多く寄せられていること等から、区民の救命救急に関する意識は非常に高いと推測する。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民の救命救急に関する意識は非常に高く、救命講習・AED講習の依頼が多数寄せられている。					
	今後の予測	AEDの普及に伴い、今後一層、「救命救急」への関心が高まってくると予測する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由:いざという時の救命技法を広める事業であり、安心・安全のまちづくりに貢献するものである。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:いざという時の救命技法を、迅速・正確に行える区民・職員を増やす。					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:救命講習会の精力的な開催、救急協力員向けの継続したフォローアップ研修の開催。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:地域大学の受講生は受講料を負担している。一般の救命講習では、費用はほとんど発生しない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:一般の救命講習では、費用はほとんど発生しない。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 18年度延べ143名の救急協力員に区が行う救命講習会での指導者をお願いした。今年度も、同規模の応援をお願いしており、さらに今年度からは地域大学修了者も加わる予定である。現在は、無報酬のボランティア活動であるが、指導者として協力いただく方々に何らかの謝礼を支払うことが課題である。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後、地域大学を通じて年間270人ほどの救急協力員が継続して増えていく。こうした救急協力員の救命技法のレベル維持・アップの機会を継続して提供していくとともに、区の救命講習会・地域大学救急協力員講座等、地域での活躍の場を増やし、「区民同士で教え・広める救命救急」を目指していく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 「区民同士で教え・広める救命救急」を実現するためにも、各種救命講習会で指導者役となる救急協力員に何らかの謝礼を支払いたい。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 今年度も引き続き、年間3,000人講習を目指し、救命講習を継続する。		